

遠賀町農業委員会通信

第4号
平成26年4月1日発行
＜発行責任者＞
遠賀町農業委員会
会長 岩崎 公彦

遠賀町の農地はどう？

未来の鍵 人・農地プランと農地中間管理機構をにぎる



後継者不足と厳しさを増す農業環境は、遠賀町においても共通の課題です。国は現在、その対策として、中心的な農家に効率的に集約して規模拡大を図る方向性を打ち出しています。中心的な農家

への集積を長期的に計画する**未来の設計図「人・農地プラン」**の作成を行ったことはみなさんの記憶にまだ新しいところですが、さらにそれでも納まらない農地の活用と耕作放棄地対策として、新たに「**農地中間管理機構**」という組織を県の段階で設置し、それらの農地をそこに預け、耕作等管理する農家を広く探す政策を打ち出しました。

しかしながら、知らない土地で農地を管理していくためには、その土地その土地で培われた技術とルールがあります。たとえば、水利など

は生産組合の水路、農道の管理によるところが大きく、それらがないがしろにして耕作はできません。それらを考えれば、まずはやはり地元でできるだけ集約をすることがより地域の農業を守ることにつながるのではないかと思われれます。となれば、人・農地プランを充実するとともに、中心的な担い手を地域で作る、大事に育てていくことが重要となつてきます。そして、それら担い手が安定した経営ができるよう環境を整えていく必要があります。そのため、去る十一月二十二日に遠賀町農業委員会として、町長に建議書を提出しました。ともに遠賀町の農業を守っていきましよう！



町長に建議書を手渡す
岩崎会長と門司副会長

7月6日(日)は

遠賀町農業委員会選挙

候補者説明会

6月17日(火)

立候補予定者事前審査

6月24日(火)

告示日(立候補受付)

7月1日(火)

投票日

7月6日(日)

環境活動

先人の功、松林をよみがえらせよう！

遠賀町の農業の先人が築き、守ってきた金市山。長きに渡り、塩害から田んぼを守ってきました。その大事な防砂林は、今、代わり果てた姿になってしまっています。これは、カミキリムシに寄生する松くい虫の被害を受け、松枯れを起こしているため、止むを得ず伐採してしまつたものです。松を伐採すれば、その分塩害を受けやすくなるため、出来るだけ伐採を避けたいのですが、倒木等の危険もあるうえ、枯れば防除の機能も薄れます。しかし、このまま放置しては、農業にどれほどの影響が出るかわかりません。

そこで、去る十二月八日に地元の芦屋町、遠賀町北部の生産組合や自治区、町議会など約200名が立ち上がりました。そして、宝くじの関連助成金を活用して購入した、松の苗木800本を気持ちを入れて、大事に植樹しました。今はまだ小さな苗木ですが、将来の塩害を防ぐ大きな力になってくれることを期待したいと思います。



農地に関する手続き お気をつけください。

農地の貸し借りについては、トラブルを未然に防止するため、賃貸契約にあたる利用集積計画、いわゆる利用権の設定が必要です。手続きとして、町もしくは農協に申請をし、農業委員会の承認を得て、公告されて初めて成立します。

〔平成二十六年年度貸借料情報〕
平成二十五年の農地の貸し借りにかかる**賃借料の「平均額」**を参考としてお知らせします。

- 遠賀町全域
- 現金の場合
(十アールあたり)
一万二千元
- 物納支給の場合
(十アールあたり)
玄米五十キログラム



これはあくまで「平均」です。利用権を設定する場合は**これを目安に**

- ・基盤整備が済んでいる
- ・用途地域内である
- ・道付きである
- ・極小農地である

などの**農地の個別の状況等**に応じて、所有者と耕作者でよく話し合つて**賃借料をお決めください**。また、お決めいただいた賃借料はそのまま利用権設定の用紙にご記入ください。

がんばれ、女の子！フレフレ応援団

目立たぬとも薬味の如き存在感

夫婦で遠賀町に住んでもうすぐ2年。安高勝弘さん、良子さん夫妻は芦屋町の兼業農家である父の農地を引き継ぎ、規模拡大して、遠賀町の専業農家として夫婦で奮闘中。お子様2人と暮らす家族のほのぼのの感じはどこから来るのでしょうか？



勝弘さんは柔らかな見た目の通り、物腰低くこやかな表情でおおらかな印象。そして、奥様は、色白でおとなしく、声も小さく、家で静かに過

ごしている印象。と思いきや、良子さんはしゃべりこそ穏やかであるものの、しっかりとしたお話と農業への想い。今は、3歳の息子さんと生まれて3ヶ月の子育てのため、休業していますが、見た目の印象とは裏腹にトラクターやコンバインを操り、しっかりと勝弘さんを支えているとのこと。玄関先で育てるメダカも、良子さんが自らのために網を持って水路で捕まえてきたもの。ただ、農業にたずさわって7年にもなるのに、いつまでたってもムシは大の苦手、ハウスの中の悲鳴が聞こえることもあるそうです。夫婦仲は家族の笑顔のとおりで、ほとんど喧嘩はしないそうですが、農作業のことで良子さんもしっかりと自己主張し



て、言い争いになることも。

安高さん夫婦は、勝弘さんのご両親のお手伝いを受けながら、4haの米麦と2・5aの青ねぎのハウス栽培を営んでいます。青ねぎはハウスで年3回の収穫で、年中栽培をしています。最初は芽が出ただけでも騒いでいた良子さんも、最近では青ねぎにお疲れ気味で、他の作物も作ってみたくとも思うようですが、方向転換も勇気と技術がいることをしっかりと認識しているようです。

ほのぼのの家族ですが、しっかりと将来も考える家族。勝弘さんの清潔感のあるフレッシュなグリーンと良子さんの無色ではない引き締まった清純なホワイト。夫婦のコントラストはそのままに、薬味となつて育てたネギに映し出されているようです。



遠賀町の美味しいを東京に届けてきました！



二十四年度発売となった「夢れんげ」、そして、それに続き「おんがの赤しそ」と「菜種油」は、お陰さまでご好評



いただいたき、菜種油は完売、おんがの赤しそも品薄の状況ですが、二十六年度も販売する予定です。それに先駆けて、一月十一日から二日間、東京有楽町で行われた、「町イチ村イチ2014」という町村の特産品フェアに出店してきました。売り上げも上々で、特におんがの赤しそは、ルビー色の美しさとともに、芳香しその香りと遠賀町産のはちみつのかんぱい味に目を丸くしていました。

4月29日(昭和の日) こどもまつり 農業ブース出展!

遠賀総合運動公園 10時~14時

明日を担う子どもたちにも遠賀町の農業を知ってもらおうと、ポンポン菓子や米麺スイーツの販売や農機の展示、お米ができるまでのパネル展示など行って、大盛況のうちに幕を閉じました。

遠賀町の公式ホームページに農業委員会が登場

町のホームページの「町ナビ」の中にあります。ぜひ一度ご覧ください。

農業者年金に加入しませんか？

引退後の安心した生活のために、農家みんなが助け合う農業者年金にあなたも加入しませんか？詳しくは農業委員会事務局まで。

農業相談を毎月実施しています！

就農、離農、農地の貸し借りや農地の転用の手続き、あっせんなど農業委員がご相談にお応えします。ご相談のある方は、農業委員会事務局（役場まちづくり課）までお気軽にご連絡ください。



《編集後記》

お話を聞けば聞くほど和やかな安高さん夫婦が微笑ましく思えました。〈高崎昭子委員〉

頑張っている若い農家夫婦をみると、苦労はあるものの、「あの日に帰りたい。」と思うことがあります。〈瓜生正代委員〉